

平成29年度音声教材普及推進会議：東京会場

平成29年9月8日（金）

音声教材を 教育として有効に活用するために

- I 各音声教材のメリット・デメリットの理解
- II 利用するまでのプロセスの重要性

文部科学省 初等中等教育局 特別支援教育課
特別支援教育調査官 田中 裕一



文部科学省

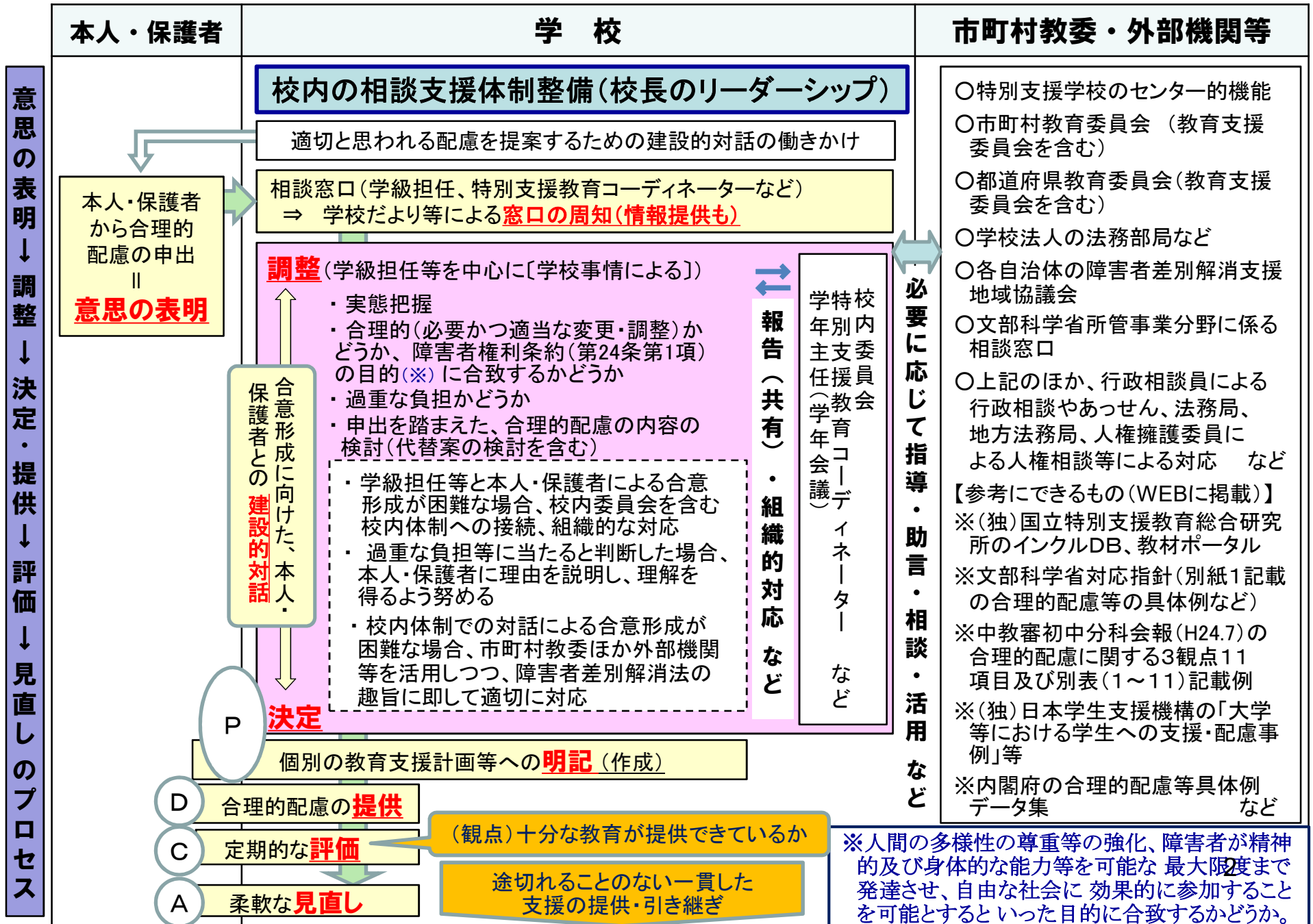
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

各音声教材の メリットとデメリットの理解

考える視点の例

- 利用者の障害の特性等
- 利用方法
- 加工性
- 一覧性
- 情報量 など

各学校における合理的配慮の提供のプロセス（対応指針等を基にした参考例）



（観点）十分な教育が提供できているか

途切れることのない一貫した支援の提供・引き継ぎ

音声教材利用が到着点ではない

音声教材利用は、

合理的配慮の考え方から言えば、

スタートラインに立ったに過ぎない！